

今後の活動予定

9/15 (水)

社団法人 苫小牧青年会議所主催

大黒摩季 & KAZUMI DREAM LIVE 2010 IN HOKKAIDO

9月15日道内出身のシンガーソングライター、大黒摩季さんのコンサートが(社)苫小牧青年会議所主催で開催されます。「まちに元気を与えたい」という考えが大黒さんの所属事務所と一致。世界的な不況から苫小牧に「少しでも明るい話題を」との思いから主催を承諾しました。「音楽を通じてまちの活性化につなげられたら」と、メンバー全員期待を寄せています。

場所	苫小牧市民会館 大ホール
時間	18:00開場 19:00開演
入場料	前売り6,500円 当日7,000円(税込み・全席指定)
お問い合わせ	スノー・ボール TEL:011-242-2000(平日9:00~19:00)

10月中旬 (予定)

シンバーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長 安里繁信氏講演会

運営中

ぐるっと巡ってグルメも楽しむ
苫小牧近郊で泊まるマップ



<http://gurutoma.com/>

ぐるっとマップとは?

苫小牧を中心とした広域エリアのオススメを紹介するユーザー書き込み型ホームページです。

苫小牧 JC の活動をホームページで

<http://www.toma-jc.jp>

苫小牧 JC 検索

苫小牧青年会議所総務委員会では、ホームページに、いつも最新の情報を掲載しております。日頃のJC活動、例会や事業等の情報や、たくさんの写真を観る事が来ます。また、OB 徒然日記、本年度から理事長ブログなど、いろいろな情報を見る事が出来ます。ぜひ、一度ホームページをご覧下さい。

JCI はすかつぶ

社団法人 苫小牧青年会議所会報誌

2010年7月20日発行
盛夏号

発行所
(社)苫小牧青年会議所
苫小牧市表町1丁目1番13号
TEL 0144-34-3627
FAX 0144-34-9762
HP <http://toma-jc.jp/>
MAIL info@toma-jc.jp

発行人・編集人
総務委員会

目次

理事長予定者挨拶	1
理事長挨拶・活動報告	-23
OB会長挨拶・拡大のお願い	4
新入会員・みなと祭り案内	5
今後の活動	6
ホームページのご案内	6

次年度理事長としての抱負

平成23年度 第59代理事長予定者



藤田 健次郎

去る7月6日に開催されました定時総会にて、2011年度の理事長予定者としての承認を頂戴いたしました、2003年度入会の藤田健次郎でございます。平素より社団法人苫小牧青年会議所の会務運営に際しましては、皆様の大変なご理解と御協力を頂いておりますこと、紙面上にて恐縮でございますが心より感謝いたします。私は、2003年度の入

会以来、Jayceeでなければ得られない経験を、様々な形で頂いて参りました。この経験は、失敗や苦勞、時には喜びと、姿形を変えて現れ、私の血肉となりました。何も解らないままにも、挑戦し続けた成果だと考えます。青年会議所は、個人に対して何かを一方的に与えてくれる団体ではありません。挑戦なき個人には会員であっても得るものが何もありません。自ら挑戦する者だけが青年会議所で成果を得

ます。これまでも、幾多の挑戦を多くの仲間と乗り越えてきました。大きく見えていたハードルは、乗り越えた後は、必ず小さく見えました。この人間成長の事実を、会員各位や市民へと実感を持って伝える一年を創り上げます。本気のチャレンジが如何に価値のある物なのかを、理事長としての率先躬行で、多面的に示したいと考えます。経済や社会の状況が厳しい時代です。好転する時をただ待つのではなく、今こそ青年会議所が活発に活動展開すべき時です。世界中の市民が明るく豊かで、真の幸福に溢れているのであれば、青年会議所は必要ないのです。戦後荒廃の時期と状況は違いますが、混沌荒廃の現在、

まだ青年会議所は必要とされています。2011年度は理事長として、多くの仲間と大きな力で活動し、明るい豊かなまちの創出とLOMの更なる進化を推進致します。時代背景や世相が変化しても、社団法人苫小牧青年会議所の本質は、変わることなく受け継がれてゆきます。ところが近年の会員減少は、日常活動の鈍化だけではなく、本会の価値ある本質の伝承をも困難にしています。現役メンバーも日々拡大活動に努めるところではありますが、皆様からも良き人材のご紹介を賜れば幸いです。末筆となりますが、皆様のご多幸とご健康、併せて益々のご発展とご活躍を祈念し、御挨拶とさせていただきます。

2010年度後期新入会員紹介

いしだ よしと
石田 義人 満 38 歳
株式会社 苦小牧北倉港運株式会社
苦小牧市元中野町 2 丁目 2 番 14 号
TEL:34-2167 FAX:33-1709

おおとも ひさし
大友 尚 満 36 歳
トヨタ自動車北海道株式会社
苦小牧市字勇払 1 4 5-1
TEL:52-3212 FAX:52-3184

こがねざわ しょうへい
小金澤 昇平 満 36 歳
株式会社 小金澤組
苦小牧市音羽町 1 丁目 18 番 3 号
TEL:34-6277 FAX:34-6500

たなか よしかず
田中 克和 満 30 歳
株式会社 昭和電気工事
苦小牧市美原町 2 丁目 27 番 13 号
TEL:61-2511 FAX:61-2512

にしきど だいすけ
錦戸 大輔 満 35 歳
株式会社 キミシマ
苦小牧市春日町 1 丁目 3 番 3 号
TEL:32-6511 FAX:32-6525

はたや まなぶ
畑屋 学 満 34 歳
株式会社 トモヒロ
苦小牧市明野新町 2 丁目 2 番 25 号
TEL:57-1127

ひぬま なおたけ
日沼 直竹 満 29 歳
株式会社 T L C
苦小牧市大成町 1 丁目 4 番 3 号 T L Cビル1F
TEL:75-8650 FAX:75-8650

ふかわ じゅんじ
不川 順詞 満 35 歳
株式会社 於久仁
苦小牧市若草町 4 丁目 1 番 17 号
TEL:34-5311 FAX:34-2141

ふじた じゅんこ
藤田 淳子 満 31 歳
株式会社 フジテクノロジー
苦小牧市若草町 5 丁目 3 番 5 号
TEL:34-1111 FAX:35-1111

ふじわら けんや
藤原 剣哉 満 29 歳
株式会社 フジテク工業
苦小牧市美原町 3 丁目 18 番 23 号
TEL:68-5711 FAX:68-5712

よしかわ はじめ
吉川 肇 満 27 歳
株式会社 MALIBU INTERNATIONAL
苦小牧市表町 6 丁目 2 番 1 号
TEL:36-0508



半年を振り返って

理事長

土屋 英樹

皆様には日頃より様々な場面で大変お世話になっております事、心より感謝申し上げます。

早いもので2010年度も半年が過ぎ、予定者を含めまして1年が経過いたしました。本年度のスローガン「真苦小牧をJAYCEEから発信」の下、自分の目指す目標を確認し、JCの活動を通して学んだ事を、一人の社会人として、経済人として、多くの市民や会社に貢献できるような活動をして参りました。半年間メンバーと共に例会や事業を通じて行動し、実践することにより、私自身が新たな気づきと感動、そしてたくさんの友情を感じさせていただいております。

飛躍させなければと気を引き締める所存であります。後半には、港まつり参画事業、全国大会、地区大会、世界大会、サマーコンファレンス、LOM発信事業には大黒摩季のコンサート、安里直前会頭の講話、子供達とのキャンプ等多くの事業を計画しております。残り半年間は市民に様々な発信を行っていきたくと考えております。

又、来年度には、(公)日本青年会議所北海道地区担当理事に高橋憲司君を輩出する事が決まり、輩出LOMの理事長として、決意も新たにしっかりと後期の運営に努め、メンバー全員の誇りと協力体制を整え、次年度理事長にバトンを渡したいと考えています。残り半年間全力で邁進してまいります。OBの皆様には更なるご理解とご協力をお願い申し上げます、理事長の挨拶とさせていただきます。

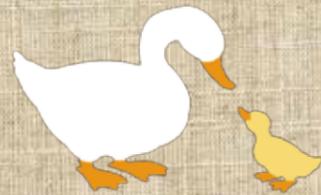
第55回とまこまい港まつり

TOMAKOMA☆アニマル☆アウトバーク

運営時間

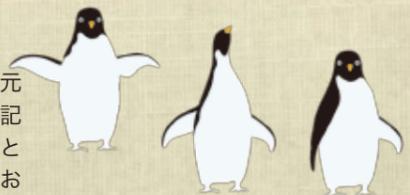
8月6日(金)11:00~16:00
8月7日(土)11:00~16:00
8月8日(日)11:00~16:00

入場料 200円



わくわく水鉄砲大会

暑い夏に水鉄砲大会に参加する元気な子供たちに対して、ひと夏の記憶に残る思い出と与えられる企画と確信しております。皆さんの応援お待ちしております!



学の夏休み上映

次世代を担う子供たちに『学の夏休み』を通して、物を慈しむ心を育んでもらい環境に対する意識を芽生えさせ、それが未来の地球環境を守る事へとつながっていくと考えております。常時上映させていただきます。



わくわく体験動物園

子どもたちが身近で動物にふれあいながら、「えさやり体験コーナー」・「動物との写真撮影」・「動物OXクイズ」を通じて、喜びや感動を感じていただき、生涯忘れることのない思い出となると考え、動物達とのふれあいを中心とする体験型移動動物園を楽しんでいただきます。ペンギン、リクガメ等がいます。

新年交礼会

2010年度、社団法人苦小牧青年会議所新年交礼会では新年を迎え、苦小牧青年会議所が今年一年をかけて行っていく活動、方針を各界のご来賓の皆様、苦小牧青年会議所OBの皆様、各地青年会議所の皆様へ理事長土屋英樹が発信させていただき最初の事業となりました。2010年順調なスタートを切ることができました。



定時総会・1月第一例会

2010年度(社)苦小牧青年会議所1月定時総会及び1月第一例会が開催されました。定時総会では、2件の案件がありましたが、すべて満場一致で決議されました。引き続きの例会では、テーマを「真苦小牧をJAYCEEから発信!」とし、土屋理事長のプレゼンテーションでは、「なぜ私たちはJCにいるのかしっかりと考えていただきたい。ただ何となくいるだけでは時間の無駄です。JC活動に真剣に全力で取り組むからこそ、単なる時間の無駄ではなく、大いなる価値のある時間になるのです。」と熱く語って頂きました。また、本年度の苦小牧青年会議所の方針、事業計画を理事長自らメンバーに向け発信して頂き、本年度をスタートする上で大変有意義な例会となりました。



スケートまつり

2月6日、7日 苦小牧市中央公園にて第44回とまこまいスケートまつりが開催され、私たち苦小牧青年会議所では「TOMAKOMA | わんぱくスノーパラダイス」と題して、多くの子供たちに、喜びや感動、生涯忘れることのない思い出と与え、夢と希望につなげ、その活動を通して、市民に活力を発信することを目的として行いました。子供たちの無邪気な笑顔を見て、私達自身も活力を確認しましたし、記憶に残る思い出になったのではないかと思います。



3月例会

「利他のこころ～近郊地域の元気から苦小牧の未来が創造される～」と題して3月第一例会が開催されました。地域、団体の垣根を越えた青年団体による広域連携を模索する為、共に学び共に考え、方向性を共有する事を目的とし、厚真町、安平町、白老町、むかわ町の各商工会青年部の皆様及び北海道中小企業家同友会苦小牧支部の青年団体である友知会の皆様に参加頂きました。例会の後半では札幌国際大学の吉岡教授より現在進行している広域連携の実例を中心に講演頂き、好評を得ることが出来ました。また、北海道庁を初めとする各地域関係諸団体の皆様にも多数参加頂き、テレビや新聞などの各種メディアにも取り上げて頂きました。



2月例会

2月25日ホテル日航千歳で千歳青年会議所との合同例会が開催されました。委員会メンバーの発想力とモチベーションの向上を図るために、北川邦弘先生をお招きし、ご講演いただきました。千歳JCとの友情も、同じテーマについて共に学び合うことで場の一体感が生まれ、それが今後更なる連携の輪を拓く上での礎となりました。



5月例会

『三無主義からの脱却～「あつしには関わりの無えこって」は危機の始まり～』と題し、5月13日(金)地域政策委員会(鎌田委員長)担当例会を行いました。ワークショップの体験を通して、市民参加の一手法を学び、無関心・無責任がこれからの市民自治にもたらす悪影響の一部分を理解して頂き、市政への積極的参加を促しました。



4月例会

本例会では大人の背中について学ぶ事を目的に開催しました。なぜ、今学ばなければならないのか、それは、子供に示すべき大人の背中を持った大人が少なくなっていると考えたからです。子供は様々な場面で私達大人の言動やしぐさなどを無意識のうちに手本とし、自らの生きる力を育てています。私達は常に見られているという事を認識し、自らが実践できる背中を学び考える事が大切だと実感しました。



6月第1例会

青年会議所は大きな目標を掲げ活動しており、達成へと導く為には目的意識を強く持ち、仲間同士助け合い困難を乗り越え絆を育み、団結する事を必要と塾は考えております。



今回、アカデミー塾例会では、大きな事へ挑戦する事で仲間との結束力、ひとり一人の存在意義を再確認し、仲間を大切に思う心、そこから芽生える友情、一生続くかけがえのない絆を得て頂きながら青年会議所活動を行って頂く為に、ギネスで認定された「もっとも大きいおにぎりアート」に挑戦しました。小さなおにぎり(メンバー一人)が集結し大きな物(団結力)を作り出し、一つの絵画(苦小牧青年会議所)を上げられる事は、まさに、青年会議所とリンクするものがあると考えました。

完成絵画の絵に込められた塾の想いと、土屋理事長の打ち出した方針をメンバー全員で成し遂げる心の象徴です。

本例会を通じ、どの力も全て大切である事を挑戦する事から学びました。団結する為には助け合い互いを思いやる心の動きが重要であり、この気持ちを市民の方々に向けて頂く事によって活動に理解を示し会員拡大に繋がるのです。

最後に、100%例会を目指す事によって、より多くのメンバーが例会に参加しアカデミー塾生と共に、挑戦から得る力と題し、団結力を育てて頂きたく例会を企画、運営致しました。

スポーツ大会

5月15日、16日の2日間、森町で第5回道南エリアスポーツ大会が開催されました。

15日にはゴルフとパークゴルフ大会が行われ、ゴルフ、パークゴルフ共に団体3位でした。また、ゴルフ個人では矢部副理事長が4位、パークゴルフ個人では山本康二君が3位と好成績でした。16日は、競泳、競輪、400mリレー、トライアスロン、LOMPR、ペタンク、マラソンと多数の競技が行われました。マラソン個人では土屋理事長が第2位に入りました。苦小牧JCは総合第4位でした。



6月第2例会

今回の例会では、メンバーに、「コーチングとは何か」「なぜコーチングが必要なのか」「コーチングの流れとテクニック」「具体的な場面に応じたコーチングの手法」について説明しました。コーチングの手法を実践的な内容で知っていただくことで、メンバーそれぞれが更に良き指導者を目指していただき、企業やチームの発展に繋げてもらうことを目的としました。



ご挨拶



苫小牧青年会議所 OB 会長

この度、不肖私事、凶らずも OB 会長の要職に担う事になりました。事恐縮しております。

誠心誠意その任を務めたく存じますのでご協力よろしくお願い申し上げます。

私自身現役 10 年間の在籍、卒業してから早や 25 年、当時は指導力開発・社会開発の両輪を基本としての様々な事業に関わって来た事が、懐かしく思い起こされます。

当時は社会経済情勢も順調な良き時代。良き先輩に仲間恵まれ「汗と涙と笑いとそして満足の 10 年」JCI 大好き人間を自負する一人であります。

今は何かと厳しい時代、JC 活動も色々大変なご苦労の中、事業活動を進めている現役メンバー諸君には敬意を表する物であります。諸事共通のことでしようが、特に JC では何事もやらずして、決して歓びも得られず、感動の涙も流せない、真の友も得られない。今年、「心から芯が新になり真へ」を旗印に船出をした土屋丸も航路半ば、折り返し地点、荒波にもめげず、初志貫徹乗組員 106

猪股 瑞彦

名のメンバー一丸となって、事業完遂の大漁旗を掲げての帰港を願う物であります。

因みに、土屋丸航海のサポートに才知に長けた OB 419 名の大船団・強い味方がいる事をお忘れなく。

その成功のためにも、先人の知恵、先輩の足跡を十二分に活用して頂きたい。よく考えてみると自分たちの生命そのものが自然(神)は働き恵みによって保たれ、文明は先人先輩達の築き上げ来られた土台の上に成り立っている事をしっかりと認識をすることが如何に大切なことであるか。原理原則と言えましょう。

その為にも JCI 106 名・OB 419 名の大家族、きめ細やかな交流事業の必要性を痛感しているところであり、これからの課題ではないでしょうか。厳しい時代・JC 事業の遂行は大いなる価値観に繋がる野ではないでしょうか。土屋丸の更なる奮闘を念じご挨拶と致します。

大いなる会員拡大のお願い

入会候補者となる方の情報を求めています！

現在、候補者の情報収集に苦戦しております。どうか情報のご提供をお願い申し上げます。

連絡先：事務局 TEL (0144)34-3627 FAX (0144)32-9762 E-mail : info@toma-jc.jp

日頃、私たち現役会員に多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、社団法人苫小牧青年会議所の会員拡大活動は、全員拡大の名の下に活動をおこなっておりますが、昨今の情勢により大変危機的な状況を呈しております。

JCI 活動の灯を消さないためにも、OB の皆様に於かれましてはどうか未来を担う会員のご紹介をどうかお願い申し上げます。

組織改革会議 議長 神保康弘